

2011年度の学校林における活動について

親林教育プロジェクトもいよいよ契約更新の年となりました。すでに県を通じてお示ししました通り、学校としては、現在の地区、特に B 地区を中心に、少し周辺部へ拡大しながら、より発展した環境教育のプログラムを作っていきたいと考えています。また、現在は林間学校の 1 プログラムとして実施されている植樹や森林施業ですが、現校長からは、いずれこの体験を全生徒(1 学年 500 名)が体験できるようにしてほしいという意志も示されました。今後ともご協力をいただく部分が多いとは思いますが、どうか本年もよろしくお願い致します。

① 2010 年度の試み

2010 年度は、親林教育の事前指導(日本熊森協会の森山まり子氏を招いて講演)を行い、生徒への親林教育への意識向上を図りました。また、林間学校では全クラスでクラスの樹を植樹したほか、11 月には、生徒の自主参加ツアーが初めて開催され、好評を得ました。6 月は、科学研究部(顧問;長谷川宏一)により、改めて現地植生調査を行っております。この他、詳細については 別紙:2010(平成 22 年度)親林教育プロジェクト活動状況報告 をご覧ください。

② 2011 年度の年次スケジュール(現地において)

- 5 月 20 日: 林間学校事前指導(日本熊森協会の森山まり子氏を招いて講演)
- 6 月: 林間学校打ち合わせ、次年度契約更新のための現地視察
- 7 月 18~21 日 : 林間学校(体験学習:植林体験・森林整備体験・森で遊ぶ体験)
- 10 月 8~9 日 : 保護者対象のツアー(植林体験・森林整備体験・森で遊ぶ体験)
- 11 月 2~3 日 : 生徒(自主参加)対象のツアー(植林体験・森林整備体験など)
- 11 月 : 契約更新
- 3 月中旬~下旬 : 現地打ち合わせ

③ 契約更新の内容

- (別紙① 計算書(北澤さんが作成して頂いたものに一部修正))
- (別紙② 各地区による作業内容案)

2011 年~2016 年は、基本的に現在の「林間学校のプログラム内での参加」を前提としております。1 年間に 50 名~100 名前後の参加者を予測しております。

④ 2011年の学校林作業内容について

(林間学校・秋のツアーでの体験プログラム)

- ① 植樹体験 (本年の記念樹は 大山桜 2本) 1人一本 植樹
- ② 間伐体験・A地区選定体験 (B地区)
- ③ 火起こし・自炊体験 (たけのこ汁)
- ④ 大木間伐体験 (B地区)
- ⑤ 癒しの森体験ツアー
- ⑥ クラスの樹の植樹 (全クラス)

(その他)

A地区植樹参加者の一覧のパネルを作り、A地区入口に設置する。

(お願いする事)

- ① 記念樹の手配 (クラスの樹と合わせると 14本)
- ② B地区の大木間伐体験
- ③ 添え木の準備
- ④ 下草刈り
- ⑤ 契約更新に伴う作業

(その他, 継続課題)

- ・ 東大バイオマスエタノール研究所との連携 (学内での講演も含めて検討)
※間伐・皆伐で出た材の利用と循環型社会に向けての教育。
- ・ 部活動の新入生コミュニケーションキャンプとしての利用
(部活動単位の参加)
- ・ 学校山林での森林セラピープログラム作り
- ・ 始めて以来, 協力態勢にある, 信州自然大学校や信濃町から何らかの参加認定書を出していただく。もしくは資格取得へのプロセスの一步とした学習プログラムを組んでいただく。